

一般国道 4号 仙台市東二番丁通り

実験時期 : H15.6 ~ H15.8
事務所名 : 仙台河川国道事務所

歩行者と自転車の接触事故等が増加

実験地区では、自転車利用者の増加により、歩行者と自転車の接触事故等が増加。



通行分離実験の実施状況

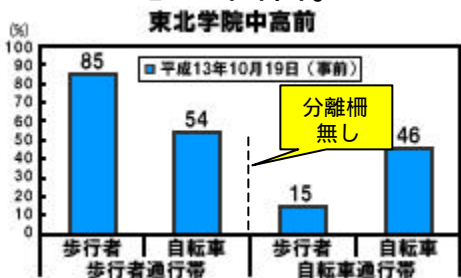


防護柵による分離

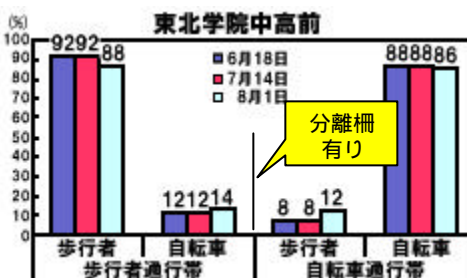
- 柵や標識により歩行者と自転車の通行を分離実験を実施。

ぶつかりそうになりよける回数が 1 / 3 に減少

- 決められた通行帯を守って通行した割合は、分離柵を設置した方が高い。
- 分離柵を設置した方が未設置の場合に比べ、ぶつかりそうになりよける回数が、約 1 / 3 に減少。
- アンケートの調査を行った結果、約 8 割の人が「分離柵は必要である」と回答。



分離柵がない場合の遵守率 (実験前)



分離柵がある場合の遵守率 (実験後)



アンケート調査結果

一般国道 13号 福島市信夫山

対策時期 : H14.12
事務所名 : 福島河川国道事務所

歩道トンネル及びその周辺で犯罪行為が増加

防犯対策の概要

監視カメラの設置

坑外照明灯ランプを交換

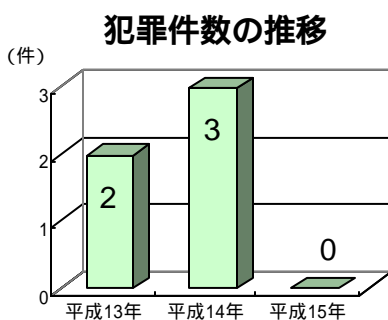
歩道照明灯を増設

非常押しボタンを増設

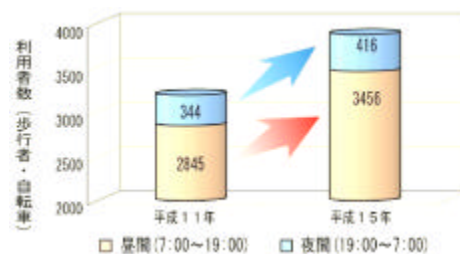


歩道トンネル内の犯罪が抑制され利用者増加

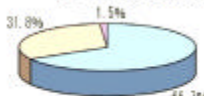
- ・トンネル内の犯罪発生が抑制。
- ・トンネル利用への安心感が高まり、利用者数が約2割増加。



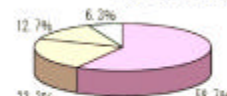
歩行者・自転車交通量の推移



防犯対策により通行時の不安が減ったと約67%の方が感じています。



約59%の方が監視カメラを有効と感じています。



約58%の方が防犯対策について認知しています。



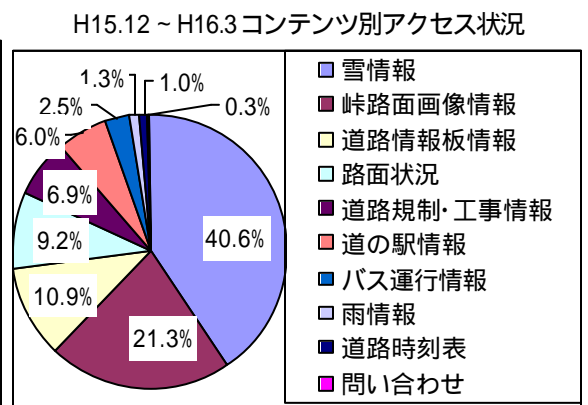
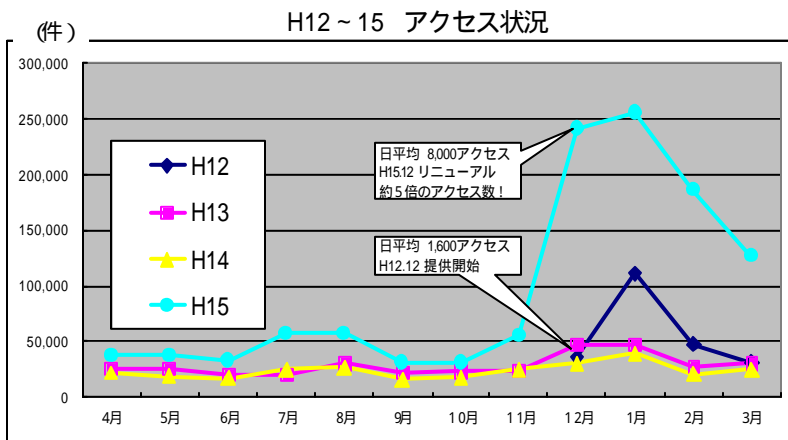
【H13アンケート調査結果】

東北全域

提供時期 : H12.12~
東北地方整備局 道路部

サイトをリニューアル後、アクセス数が5倍に増加

平成15年12月より、「峠部画像情報」「道路情報板情報」「雨量予測」「道路時刻表」のコンテンツを追加。



- ・リニューアル後の12月はアクセス数が過年度と比較し5倍に急増。

行楽期や災害発生時はアクセスが集中

- ・平成16年5月のアクセス状況によると、ゴールデンウィークと国道112号での災害による全面通行止め時にアクセス数が増加。

